

第634号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2022年1月17日
発行責任者 喬木村公民館長 市瀬 徹
編集責任者 公民館編集部 仲田 久志
印刷 龍共印刷株式会社



田中恵梨 (北)

平成22年生 12歳

今年で、私は十二歳になります。新型コロナウィルスのえいきょうで、ここ二年程なにもできませんでした。けれど、その分ふだんの生活がとて恵まれていたことがわかった二年間でした。なので、この節目に身の周りの人に感謝を伝えたいと思います。



木下雄介 (富田)

平成10年生 24歳

私は、平成十年に富田生まれ、高校を卒業するまでは喬木村で過ごしました。高校卒業後は、岐阜県の看護学校に進学しました。初めから地元に戻ってくるつもりで進学したので、迷いなく地元の病院へ就職しました。現在は、飯田市立病院で看護師をしています。

就職して半年以上が経過しましたが、まずは仕事に慣れること・日々の業務内容を覚える事であったという間に一日が過ぎていきました。また、実際の現場に立



市瀬貴丸 (馬場)

昭和61年生 36歳

現場に出て、人の命を預かるためには基本的な知識を身につけ基礎を固める必要があると学びました。私は看護師として知識があり、患者さんとのコミュニケーションを通じ、患者さんの気持ちを読み取る様な看護師になりたいと思っています。その為の第一歩として、今年の抱負は、基本的な疾患の知識・薬剤の知識・心電図波形の知識を身につける事を目標に頑張りたいと思っています。一人前の看護師になれる様に、目標に向かって日々の努力を怠らない様にしたいです。



大島砂緒里 (帰牛原)

昭和49年生 48歳

十一月末の日曜日、夕飯を作りながら笑点を見ていた時、今年が寅年で自分が年女ということに気づきました。と同時にこの館報が頭をよぎりました。でもさすがに私のところには来ないだろうと思っていた次の日の月曜日。編集部の方が職場に現れ、私のところに原稿の依頼にきたのです。そんな偶然ある？となんだかすくく笑えました。他の方にお願しようかと思つたのですが、このご縁はきつと何かある！と思ひ引き受けることにしました。そして、日頃お世話になつている方々にお礼が言えるチャンスだと思ひました。

私は現在、村内で小さいお子さんから、小学生、人々の先輩の方と関わる仕事をさせて頂いています。朝は一歳から六歳までの小さな子どもたちと、その後は八十歳代までの人生の先輩方、夕方は小学生という、年齢層の幅広い方々と接する中で、子どもたちからは、子どもながらの純粋でかわいさとのふれあい、人生の先輩たちからは、料理の話や、昔 喬木村に映画館や魚屋があった話、私にはとても新鮮で楽しませてもらっています。そして時には野菜なども頂いたり、子どもたちも含め、みなさん本当にいい人ばかり。みなさんと関わり、楽しい時間が持てることに感謝しています。



仲田幸子 (南)

昭和37年生 60歳

この度編集長から「還暦を迎えるにあたって」とお題を頂きました。「えっ還暦って特別な事？」そうか赤ちゃんに還るのね？子供の頃、赤い帽子にちゃんちゃん姿でお祝いをしたのを見た事がある。その頃は相当高齢な方と思つてたが、いざその年になって四十代位の感覚でいます。

私は父の転勤のため木曾郡上松で産まれました。その後、母と弟と私は平谷村に戻り、父は単身赴任となりました。実家が旅館業でしたので、母は子育ての女となりました。編集部からの強い依頼を断り切れず、原稿を書いていきます。喬木村に来てから、農業委員、区会議員、女団役員等いろいろな役職を務めさせてもらいました。農業委員のときは、南部の村会の方に、「農業委員に推薦させてもらえないか」と玄関で言われては断れないと思ひ、引き受けました。農業委員に関わることはすべて参加したことで、地域・地区・飯伊・県を知ることができ、大勢の仲間と出会うことができ、二期六年でとてもいい経験ができました。今ではやらせてもらったことに感謝しています。役を引き受けることは負担ではありませんが、役を

あこの時
今年、公民館社会部でテーマを考えて提案しているが、社会部で今年のテーマを検討したときに、ある部員から「小学生の孫も取り組んでいるので、子どもも参加してもらったら」という意見が出され、今年も子どもも参加できる「ふるさとづくりフォーラム」にしようと思つた。世界で気候変動問題をリードしているのはスウェーデンのグレタ・トゥーンベリさんをはじめとする若者たちだ。だから、小中高生にも参加してもらい、大人たちと意見交換してもらおうことには大きな意味があると私は思う。大人は子どもや若者の意見を軽く見る傾向がある。まず、これからの時代を生き抜いていく子どもや若者が何を考え、この問題にどう取り組んでいこうとしているのかをしっかりと聞くことが大事だ。そして、その考えを生かす方法を大人たちも真剣に考え、実行に移していく道筋をつけていく必要がある。

両立にさぞかし苦労したと思います。小さな村でしたが夏休みには東京、大阪方面より多くの受験生が滞在し、とても賑やかでした。高校・短大を卒業し地元で働いていました。阿島へはあるゴルフ大会で、一緒に遊んでいた方からの紹介で参りました。結婚後介護福祉士の資格をとっています。趣味は十数年前に始めたフラメンコです。年々年をとると踊りは段々難しくなり、何度か止めようと思ひましたが「継続は力なり」と通ひ続けています。これもいつも温かくご指導して下さいます。先生方のお陰と感謝する日々です。今後も老体に鞭打って頑張つて行きたいと思っています。



# 新型コロナを乗り越え 友との再会に歓喜!

## 令和2年度



社会に貢献できる人間に

実行委員長 小山梨仁

この度は、私たちのために、コロナ禍という大変な状況下でありながら、「中止」ではなく、「延期」という対応をしていただき、ついに本日、開催していただきありがとうございます。

私たちは成人式という人生の大きな節目を迎えることができたのは、幼い頃からここまで育ててくれた家族、多くの時間をともにした友人、進路について心を砕いて下さった先生方、また様々な形で私たちを支えて下さった地域の皆様のおかげです。深く感謝申し上げます。

さて、市瀬村長をはじめ、村議会議員の皆様、恩師の先生方からの心に沁みるお祝いの言葉、激励のメッセージをいただき、身が引き締まる思いがいたしました。

さて、市瀬村長をはじめ、村議会議員の皆様、恩師の先生方からの心に沁みるお祝いの言葉、激励のメッセージをいただき、身が引き締まる思いがいたしました。



毎日の何気ない生活のありがたさや、人と人とのつながりの大切さを強く感じるとともに、溢れる情報の中で周りに左右されず自身で考え、判断し、行動する力や、どんな困難に直面しても諦めない強い気持ちや改めて問われているように感じられた日々でもありました。

そのような状況の中、私達の中には就職して社会の一員として仕事に奮闘している人、学校で夢に向かって勉強に励んでいる人がいます。

また、成人式の開催に向けて御尽力くださった関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



さらなる飛躍を誓う  
新成人代表 宮下流星

まず、おかれている立場はそれぞれ違いますが、それぞれが自身の目標に向けて一歩一歩ですが歩み続けている最中です。

私は現在、飯田市の会社で電材の営業をしています。失敗をすることも多いですが、お客様に対して分かりやすい説明と真摯な対応を心がけ、尊敬する先輩方のように一日でも早く社会や地域に貢献できる人間になることを目標に日々努力しています。

本日は成人を迎えた私たち新成人の門出を、コロナ禍という大変な状況下でありながら、このような盛大な式典でお祝いしていただき、本当にありがとうございます。

さて、ここで少し喬木村を振り返ります。私は約十年前、小学六年生の時にこの喬木村に引っ越してきました。始めは周りの環境がガラッと変わる事に「不安不安不安」、正直楽しみの字もありませんでした。しかし、そこは喬木村、転校してきたその日に友人が家まで遊びに来てくれました。それからの学校生活はなんと楽しい事でした。気が付いたら私もいつの間にか喬木の子となっていました。小中学校の青春

ず、今後も多くの人に迷惑をかけてしまうと思いません。未熟な私たちに對し、今後より一層のご指導をよろしくお願いいたします。

最後にありますが、今まで支えてくださった多くの方々やふるさと喬木村に対する感謝の気持ちを忘れず、社会の一員として自分の行動に責任を持ち、社会に貢献していくことを誓い、令和2年度成人代表挨拶とさせていただきます。

りしてしまうことがありますが、そんな時は危険な近道よりも多少安全な道を通り、結果として世のため、人のためになる正しい選択ができる大人になりたいと思います。現在、学校に通い自らの夢や希望に向かい努力している仲間、就職をして社会のために血と汗と涙を流しながら奮闘している仲間がいますが、この式を機にさらなる飛躍を誓う者たちばかりです。今の時代は日本国内のみならず世界の変化が目まぐるしく、情報も日々変化を繰り返しています。この様な中で私たちが生きていくため、心のずっと奥にある熱き信念を燃やし、日々の努力を惜しまず「強い大人」になる事を誓います。そして、進んで行くグローバル社会での活躍をここに誓います。

また、成人という節目を迎え、社会からは本格的に責任を求められる事となります。今までは違う、より厳しい立場に私たちは生きていくことでしょうか。今までの人生で、私は「急がば回れ」ということわざを大事にして生きてきました。人生は選択の連続とよく言いますが、良い選択、悪い選択は自分次第だと思えます。そして、私がしてきたこれまでの選択は一つも間違っていないと自信できるほどに成長しましたが、時にその自信が空回りしてしまったりと助け合い、



3名の方がオンラインで出席しました



成人を迎えての思い  
新成人代表 木下知哉

コロナウイルスの影響により、開催が危ぶまれた成人式でしたが、本日このように式典を催していただき大変嬉しく思っております。市瀬村長様をはじめ、日頃からお世話になっていらっしゃる方、地域の方々に感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

さて、喬木中学校を卒業し、高校へ進み、皆それぞれの道を今日まで歩んできたかと思えます。それまでには本当にたくさんのご縁があったかと思えます。私は高校卒業後、東京の専門学校に進学しました。東京

さて、喬木中学校を卒業し、高校へ進み、皆それぞれの道を今日まで歩んできたかと思えます。それまでには本当にたくさんのご縁があったかと思えます。私は高校卒業後、東京の専門学校に進学しました。東京

と思いがちかもしれませんが、後押しされ、私は今の壇上に立っています。言葉が持つ力はすごいものだと思います。しかし、その一方で言葉は恐ろしい凶器にもなってしまうかもしれません。私は言葉だけに限らず、たくさんの人に元気を与えられる、勇気づけられる、そんな大人になりたいと思います。

今日こうして懐かしき仲間と再会できたことに嬉しさのあまり、一曲歌いたいくらいに気持ちが高ぶっておりますが、今はその気持ちをグッと胸の中にしまっておき、後ほどの気持ちで爆発させたいと思います。またいつになるかは分かりませんが、今日来ることのできなかつた仲間も一緒にどこかで集まれたらいいなと思います。その日までにこれからの人生大きな壁にぶつかることがあるかもしれませぬ。辛いこと、嫌なこととは絶対に訪れると思えます。しかし、その嫌なことは必ず終わりがくると信じています。だから嫌なことに向き合い、それを乗り越えられれば自分をさらに大きくできるのかなと思えます。でもそんな中で嬉しいことや楽しいこともたくさん増えていくと思えます。それを糧にして皆それぞれがそれぞれの道で花を咲かせられると信じています。

最後になりますが、ここまで育ててくれた家族や地域の方々、恩師の先生方そして友人達に感謝の意を申し上げます。代表の挨拶とさせていただきます。



# 令和3年度



# 成人式



本日は私たちのためにこのような素晴らしい会を開催していただきありがとうございます。

喬木村長をはじめ、恩師の先生方、そして家族や地域の方々に支えられてここまで成長することができました。それらの成長過程をこの喬木村で過ごすことができ本当に嬉しく思います。



実行委員長 木下涼介

事なり勉強に励み、それぞれの人生を歩んでいると思います。私も二十歳を過ぎ、調子に乗ってお酒を飲みすぎた結果、尿酸値が基準値を超え、いつ痛風発作が来るか怯えながら毎日過ごしています。

そんな中で私は皆さんに伝えたい事が2つあります。

一つ目は皆さんも感じる事があったと思います。が、当たり前前がたさです。新型コロナウイルスにより今までの常識が常識に変わった世の中になりました。マスクをしなければバ



信頼される社会人に  
新成人代表 湯澤虎太郎

本日は私たち新成人の為にこのような式典を催して頂き誠にありがとうございます。また、現在日本各地で流行しております新型コロナウイルスの影響により、一時は成人式の開催が危ぶまれていた状況の中、成人式をするにあたり無償での抗原検査の実施など、市瀬村長はじめ多くの方々との協力によって、このように成人式を催して頂いたこと、重ねて心より感謝申し上げます。

この喬木村で育った仲間たちと、こうして成人式を迎えることができ大変うれしく思っております。今思えばこの学年はよく先生に迷惑をかけたり、私は野球部に所属しておりましたが、その部活中には顧問の先生や林田コーチによく怒られていた記憶が今でも強く残っております。たまに部活動やクラスの友人と会って昔の話をする際に「あの時は迷惑をかけたな」と反省しながら中学時代の思い出を話していると、自分たちも大人にな

たんだなど感じるようになってきました。同級生の中には自分の将来をしっかりと見定め、大学・専門学校で勉学に励んでいる人、就職して仕事に尽力している人など、それぞれが自分の道を進んでいます。私自身もお互いの近況報告などで同級生と話したりすると、やはり中学校の同級生というのは特別な存在だと感じると同時に、自分も負けないように頑張ろうと思いま

た。私は中学を卒業すると同時に喬木村から離れ、現在は県外に住んでおります。よく「住めば都」という言葉があり確かに生活環境には慣れていきま

す。私は中学を卒業すると同時に喬木村から離れ、現在は県外に住んでおります。よく「住めば都」という言葉があり確かに生活環境には慣れていきま



成人式を迎えて  
新成人代表 福田大輔

本日はこのコロナ禍の状況の中、検査の支援、そしてこのような素晴らしい成人式を開催していただき誠にありがとうございます。

この日を迎えることができ、この日も、村長をはじめ、温かく見守っていただいた地域の方々のおかげです。心より感謝申し上げます。

例年通りなら夏に成人式を行う喬木村ですが、今年にはコロナの影響で冬にやることになった成人式、女子の振袖姿を拜めることができ、僕に取ってはラッキーです。そういった配慮も流石喬木村と思いました。

僕たちは二〇〇〇年生まれ

僕たちは二〇〇〇年生まれで、ミレニアムベイビーと言われる新しい時代を築く年代です。ですが僕たちは中学の頃「史上最強のバカの代わりバカ」と言われる年代でした。大変多くの方に迷惑をおかけしましたが、そんな僕も今は社会の荒波に揉まれていま

す。僕は高校卒業後地元企業に就職しました。ですが僕はその仕事に合わず人生のどん底に落ちました。毎日何をしているんだらうと自問自答の時間を過ごして

きました。そんな時僕を救ってくれた音楽があります。そのアーティストの歌を毎日聴いていると、次第にこの人たちと、そしてこのアーティストを生み出した天才プロデューサーと働いてみたいと言う感覚が押し寄せてきました。そして、僕はこの人たちと働くために東京に出ようとして決意しました。

東京なら仕事もたくさんあるので、職も決まらずに出て行こうとしました。周りの人からはバカだのそんなの無理だの色々言われましたが、根拠のない自信はありました。最初はアルバイトなどで食いつなぎ、三ヶ月後、人の紹介で今のテレビ制作会社で働けるようになりました。そこでバラエ

「だ」と思わせてくれます。どこに住んでいようが私の中で喬木村は「初心に帰れる場所」です。

去年高専を卒業し、現在は自身の夢でもあった医療関係に携わる仕事に就くことが出来ました。連日仕事を覚えるのに一杯で余裕はないです。また就職して思い描いていたイメージと違ったりする部分もありました。でも毎日自分自身

がしたかったことができ、

ティーを中心にテレビやYouTubeなどを制作しています。その中の企画で吉本新喜劇座長の小敏千豊さんにゲーミングチェアを頂いたり、夏にはオリンピックの仕事にさせていただいたり、冬には自分が撮影・編集したものが地上波の全国で放送されたりと順調に物事が進んでいます。

しかし、自分自身まだ何も成し遂げていません。自分の上京するきっかけとなったアーティストとはまだ働いていませんし、自身が今の仕事を動かしているわけではありません。なのでもっと貪欲に毎日

過ごさないといけないと思っております。ただ僕たちは若いですが、何度もやり直り直すことができるところからこそ、自分自身がやりたいと思うことを追求していきます。泥水をすすすることも沢

山ありますが、その泥水を美酒に変えてやります。

楽しく、毎日が充実しております。このような生活を送らせて頂いているのも、家族や友人をはじめ多くの方の支えがあつてのものだと思っております。常に感謝の気持ちを持ちながら、初心を忘れずに地に足をつけ、一歩ずつ一歩ずつ誰からも信頼される社会人になれるように日々精進することを誓って、新成人代表の意見発表とさせていただきます。

そしていつかは喬木村のために何かしたいと心の底から思っています。今はベリー&ゴーのLINEスタンプを東京の人にプレゼントするくらいしかできないですが、もっと自分自身の力をつければ何か貢献できることがあると思うので、皆さんそれまで期待して待っていてください。

最後になりましたが、ここまで大きくなったのは家族、友人、喬木村の方々のおかげです。そんな方々に感謝の意を申し上げ、新成人挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



祝宴の代わりに行ったピンゴ大会



# 令和四年 公民館新年の挨拶

新年明けましておめでとうございます。村民の皆様には、日頃から喬木村公民館の事業にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

一昨年に続き、昨年も新型コロナウイルスに振り回された一年でした。ワクチン接種が進み、十月以降は落ち着いてきましたが、変異したオミクロン株の感染が広がりはじめ、予断を許さない状況になりつつあります。油断せず、感染予防を徹底しなければならぬと改めて考えています。

さて、昨年も公民館事業は思うように実施できませんでした。しかし、感染予防を徹底することを前提に、できる時にできることをできる方法でやっているという意識が共有されてきたように思います。

このまま何もできない状況が続いてはまずいと思っただけの方も増えてきたように思います。事業が実施できないということは、地域の方々が集う場が提供できず、人と人のつながりや地域コミュニティの崩壊につながりかねないという危機感を私は持っています。

その危機感を村民の皆さんと共有し、公民館事業に積極的に関わっていただけるようにしなければならぬと思っています。新型コロナウイルスの状況はまったく見通しが立ちませんが、今年も感染状況を見ながら開催方法を工夫し事業を進めていきたい

と思います。そして、公民館の使命である村民の皆さんの学習の場を保障し、地域づくりに貢献できるように取り組んでいきたいと思



今年もよろしくお祈りいたします

## 第31回 喬木村駅伝大会

26チームの皆さんが参加！



第三十一回喬木村駅伝大会が十二月十二日(日)に行われました。当初十月三十一日に予定していましたが、衆議院選挙の関係で延期となりました。当日は小学生チームから一般チームまで幅広い年齢層の方々で構成された、全二十六チームが参加しました。今回の大会では、大会運営のための人員を削減、感染対策を徹底するために、選手や役員移動を減らし、運動公園周辺を周回するコースを設定しました。天気は快晴とはいかないものの、雨に降られることもなく、総距離七・八kmのコースを、全チームがゴールすることができました。総合優勝は、喬木中学校三

総合優勝 アレグリ9年生 記録 0:29:17

- 一般男子の部
  - 1位 信州物産とゆかいな仲間達 記録 0:30:13
  - 2位 桑つつ 記録 0:32:07
  - 3位 伊藤製菓 仕込み課 記録 0:33:40
- 一般女子の部
  - 1位 ほいくえんA 記録 0:43:08
  - 2位 ほいくえんB 記録 0:43:12
- 中学生男子の部
  - 1位 アレグリ9年生 記録 0:29:17
  - 2位 喬中野球部3年 記録 0:30:47
  - 3位 愉快的新井とその仲間たち 記録 0:31:11
- 中学生女子の部
  - 1位 喬木中のプリキュア 記録 0:37:23
  - 2位 喬木中の特急列車 記録 0:37:30
  - 3位 喬木中のドラミちゃん 記録 0:38:35
- 小学生男子の部
  - 1位 アレグリーズ 記録 0:34:16
  - 2位 喬木アレグリFCjr6年 記録 0:35:34
  - 3位 喬木少年野球クラブA 記録 0:36:41
- 小学生女子の部
  - 1位 喬木ジュニアVC 記録 0:38:10

年生で構成されたアレグリ9年生でした。多くの声援が飛び交う中、つなげられたすき。皆が一つになり、とても清々しい大会となりました。大会運営にご協力いただいた方、大会に参加いただいた方、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。



総合優勝したアレグリ9年生

全国大会では第一回戦にて富山第一高校(富山県)と対戦し、三十二対八で快勝。続く第二回戦では目黒学院高校(東京都)と対戦し、零対三十八で残念ながら敗れました。今後のご健闘をお祈りいたします。

たかぎ短歌会

### 師走歌会詠草

朝夕に親しみ見上げし櫛の樹 小椋 りよ  
 今日伐られる音悲鳴のごとし  
 ひと仕事終へたる様に救急車 元島 康子  
 静かに目の前通りすぎたり  
 秋日和元善光寺の階段を 木下 寿子  
 久に登れば齢を感じず  
 又一軒養豚業が廃業し 知久 美子  
 行く末見えぬ歳しと迫る  
 木犀の花季終へて我が庭に 木林 睦枝  
 山茶花咲きて秋深み行く

幹伸ばし枝を張らせし大櫛 内山 貴子  
 大鼓になると今朝伐られたり  
 家事終へて惚け防止にとパズルする 内山 和子  
 解けぬ一つに夜の更けるまで  
 柿むきの機械にすんなり座るあり市瀬 准子  
 「剥かれてたまるか」と飛び出すもあり  
 金木犀ほのかに香る記念樹は 田中 妙子  
 中二となりし初孫祝い  
 配膳の手元もどかし昼迫り 関島 春子  
 焦れば皿よりはみ出すキャベツ  
 其処ここに小さき秋を見つけたたり 福澤 亀人  
 梅の小枝に養虫揺るる

## 市瀬さん 全国高校ラグビー大会出場

第百一回全国高等学校ラグビーフットボール大会(令和三年十二月二十七日)と令和四年一月八日開催)に出場された市瀬幸太郎さん(飯田高等学校二年・小川)の激励会が十二月十三日に行われ、村及び村体育協会から激励金が渡されました。市瀬さんは、十一月三日に長野市で行われた同大会長野県予選大会決勝で、岡谷工業高校を三十三対十三で下して優勝し、大阪府東大阪市で行われる全国大会に出場することになりました。チームではウイングとして、味方をつないだボールをもってライン際を駆け上り、トライするという重要な役割を担う市瀬さん。



((左から) 体育協会長、市瀬さん、村長、教育長)

### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、心新たに目標や計画を立てている事と思います。今年の干支は寅年です。寅年は何かの始まりや成長が期待される年ともいわれています。依然、新型コロナウイルス感染症の脅威は続いており、予断を許さない状況ではありますが、時代の変化に順応し、様々な事に真摯に取り組んでいきたいです。

### 第2回 平和学習会 「世界を映すスプリットスクリーン ～米中新冷戦のゆくえ～」

日時：2月27日(日) 14:00～  
 場所：福祉センター多目的ホール  
 講師：市瀬 卓さん  
 NHKグローバルメディアサービス ニュース制作部 担当部長  
 ※入場無料・要申込(2月18日(金)までに電話又は上記QRコードよりお申込みください)

### ふるさとづくりフォーラム 「SDGsを知ろう! 考えよう! 取り組もう!」

日時：2月13日(日) 13:30～  
 場所：福祉センター多目的ホール等  
 内容：第1部 全体講演 SDGsを知ろう! 【講師】元持 幸子さん  
 第2部 分科会 みんなで考える「SDGs」 「環境」と「平和・貧困・平等」の2つの分科会に分かれてSDGsについて考えます。  
 ※入場無料・要申込(2月8日(火)までに電話又は上記QRコードよりお申込みください)